

みと好文カレッジ情報

～生涯学習社会の構築をめざして～ Vol.4

平成24年3月31日発行
発行所 水戸市教育委員会
みと好文カレッジ

〒310-0852
水戸市笠原町978番地の5
水戸市総合教育研究所3階

電話 029(303)6602

FAX 029(303)6601

Mail koubun@pluto.plala.or.jp

URL

<http://business2.plala.or.jp/koubun>



「今、改めて放射能を考える」放射性物質の概要や築地市場の取り組みを学ぶ



「備えあれば憂いなし! いざという時のための防災講座」東京臨海広域防災公園での防災体験

みと好文カレッジは…

市民の皆さんの生涯学習を応援します。何かを始めようと思ったとき、何をするか迷っているとき、一人では第一歩を踏み出すのに勇気が必要です。こんなときに、みと好文カレッジがお手伝いします。

各市民センターの定期講座情報や「あなたも師・達人制度」からの講師紹介など、生涯学習の羅針盤になればと思います。



親業訓練講座 ～親のための栄養補給 こころのサプリ～



子どもに親の思いが伝わらない・・・
子どもと、どのようにコミュニケーションをとってあげればいいかわからない・・・
そんな悩みを抱えている親のために、親と子の間に心の架け橋をかけるコミュニケーションを学ぶ講座です。乳児期から高校生までの子を持つ親、また現在妊娠期の母親も参加できます。

好評につき、平成24年度は、入門コースと一般コースを開講する予定です。みなさんのご参加をお待ちしております。



受講者からこんな声が寄せられました

- ・日頃、子どもとのコミュニケーションに悩んでいたのがとても勉強になりました。
- ・今までは子どもの気持ちも考えず、自分の考えをぶつけていた事が多かったです。講座を聞いてとても勉強になりました。
- ・たくさんの受講者と関わることができて、気づかされる事が多々ありました。
- ・観念論ではなく、具体的な技法を学べて良かったです。
- ・子どもを1人の人格として尊重できる自分になり、子どもにも「私を理解してくれるようになった」と言われるようになりました。

ほっとひといき！夢らんど

1歳6ヶ月から4歳未満までの子とその親を対象にした事業です。毎回様々なプログラムを用意し、子育て中の親同士の出会いや情報交換の場として賑^{にぎわ}っており、育児に対する悩みやストレスが解消できる等の声が寄せられています。平成23年度は内原中央公民館を会場とし、原則毎月第一木曜日に、たくさんの親子が参加しました。また、平成24年度は水戸市福祉ボランティア会館（ミオス）で開催する予定です。みなさんのご参加をお待ちしております。



子どもと一緒に
楽しさ発見！



参加者の声

- ・人が沢山いる中でも、少しずつ参加できるようになりました。
- ・体験した事に興味を持ち、家でも継続しています。
- ・4月からは、幼稚園なので、これからの幼稚園生活に役立てば、と思います。

平成 23 年度好文塾

私たちが心豊かな社会生活を営むうえで学んでおくことが望まれるテーマをもとに、市民センター職員とみと好文カレッジ職員で話し合いを重ねながら、講座として実施しました。平成23年度はブロック単位の市民センターや単独の市民センターで実施しました。



備えあれば憂いなし! 中央ブロック いざという時のための防災講座

三の丸・五軒・新荘・常磐・堀原市民センター



災害に対する備えや、災害時の対応などを学び、日ごろからの防災に対する意識の向上を目指しました。

そうだったのか放射能 西部ブロック ～食をとおして家族を守る～

石川・桜川・上中妻・双葉台・赤塚市民センター



この講座を通して、放射能が食に及ぼす影響について学び、家族の健康について考えました。

今、改めて放射能を考える 北部ブロック ～子どもたちの未来のために～

柳河・渡里・飯富・国田・山根市民センター



放射性物質に関する適切な知識を身につけ、より影響を受けやすいとされる子どもたちをどう守るかを考えました。

がんばりすぎない介護のススメ 緑岡 ～笑顔で毎日を過ごすために～ 市民センター



将来介護に直面したときのために、介護保険の学習や疑似体験を通して介護に対する理解と対処法を学びました。

あなたも師・達人制度



特技や豊富な知識を持っているのにも関わらず、その特技を有効に活かしていない方。また、市民のみなさんの生涯学習活動をお手伝いしたいと思っている方。いらっしゃいませんか？

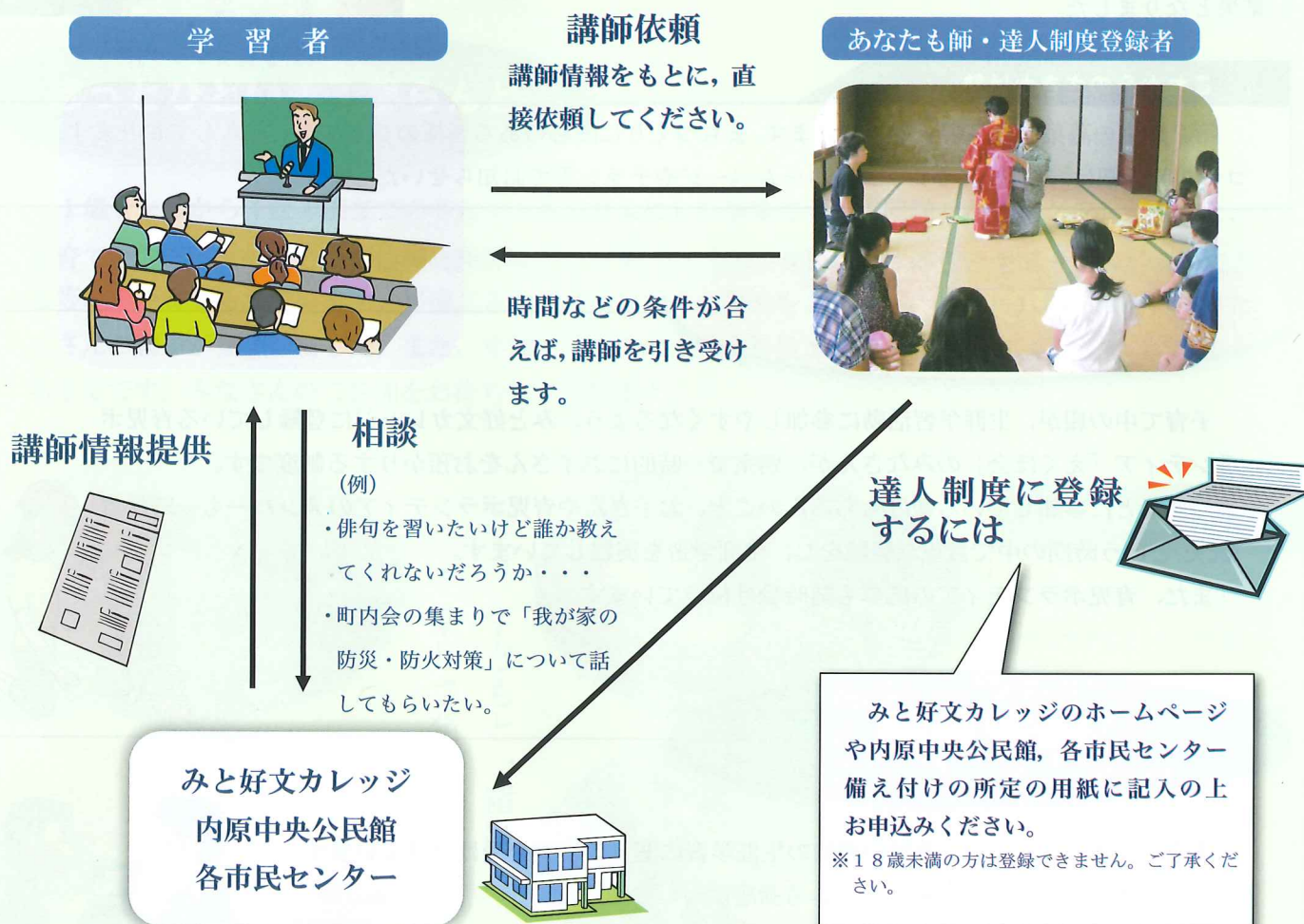
「あなたも師・達人制度」とは、そんな市民のみなさんに登録していただく、講師の人材バンク制度であるとともに、学びたい方に登録講師を紹介する制度です。

講演会やサークル活動の講師など、活躍の場はさまざまです。皆様のご登録・ご利用をお待ちしています。

あなたも師・達人制度の講師の依頼

- 1 みと好文カレッジ・内原中央公民館または各市民センターまでお問い合わせください。
- 2 講師に関する情報をお知らせします。
- 3 講師には、ご依頼者が交渉していただき、日程・謝礼等を調整してください。
- 4 講師をお願いした場合は、お手数でも、みと好文カレッジまで、結果をお電話でご連絡ください。

あなたも師・達人制度のイメージ図



さががけ塾（生涯学習サポーターチャレンジ講座）

行政との協働により、みと好文カレッジや市民センターの学習講座の企画・立案に携わり、講座をとおしてまちづくりに参画する二年継続講座「さががけ塾」を開催しています。

一年目のまとめとして、6つの講座が提案され、プレゼンテーションの結果、2つの講座が選ばれ、さががけ塾塾生企画講座として実施しました。



▲
プレゼンテーション

<<講座を企画したさががけ塾塾生の感想>>

「お正月を見る 食べる 遊ぶ！」

さががけ塾「地域支援コース」で多世代間交流をテーマに、お正月の由来や行事に取り組みました。参加していただいた小学生や保護者、シニアの方たちの、正月飾りや凧作り、凧揚げに無心に取り組む顔が今でも鮮明によみがえります。



▲
凧作り

「すくすく子育て ままナビづくり」

企画は立てやすかったのですが、チラシ作りは学んだもののなかなか難しいものでした。受講生たちが、講座終了後も更に良い情報誌を作るためにグループで活動を続けることになり、企画した私たちにとって、本当に嬉しい結果となりました。



▲
子育てマップ作り

これからのさががけ塾

第2期生の募集を9月頃予定しています。まちづくりに関心のある皆様のご参加をお待ちしております。コース等詳細は、みと好文カレッジのホームページやチラシ等でお知らせいたします。

育児ボランティア制度

子育て中の親が、生涯学習活動に参加しやすくなるよう、みと好文カレッジに登録している育児ボランティア「えくぼ会」のみなさんが、別室で一時的にお子さんをお預かりする制度です。

講演会などに参加している親はもちろんのこと、お子さんや育児ボランティアのメンバーも一時保育（託児）という時間の中で貴重な経験をし、生涯学習を実践しています。

また、育児ボランティアの応募も随時受け付けています。



学習相談

みと好文カレッジでは、市民の皆様の生涯学習に関する相談を受け付けています。

<例>①市民センターで開催されている講座について知りたい。

②講演会の講師を探している。

③子育て仲間に出会える場を探している等。



—みと好文カレッジゆかりの地を訪ねて—

とよた てんこう
豊田 天功
1805-1864



豊田天功肖像（模写 弘道館内掲示）

豊田天功（1805～1864）は久慈郡坂野上村（現在の常陸太田市）に庄屋豊田清三郎の次男として生まれました。天功は幼いころから優秀であり、周りから神童と呼ばれる程でした。14歳の時に藤田幽谷が梅香町に開いていた私塾「青藍舎」に入門し、幽谷の門人となりました。そして、彼は文政3年（1820）に彰考館見習いとなりました。彰考館とは、「水戸黄門」でお馴染みの徳川光圀が、『大日本史』という歴史書を編纂するために、作った史局のことです。

天保3年（1832）に、藩政改革の成否は人材登用にありと主張する『中興新書』を著し、藩主徳川斉昭に訴えました。これにより、天功の名は人々に知れ渡る事になります。

天保14年（1843）に天功は、『大日本史』の編纂が遅れていることに対して、4、5年の年限を立て

て完成を目指すべきであると申し立て、自らその任に当たる用意があることを徳川斉昭に述べました。これにより、国史志表編纂頭取という新しい職に任命されます。しかし、弘化2年（1845）徳川斉昭が処罰を受けたことに対する政治運動により休職することになりました。

その後、復職を許された後はロシア並びに蝦夷地などの風土、人情、歴史を調査するようにとの命を受け、『北島志』を編纂しました。また、嘉永6年（1853）のペリー来航後は常に西洋諸島の脅威と警戒の重要性を説き、『靖海全書』を著しました。そして、これらの著作は、徳川斉昭の攘夷論・海防論の裏付けとなり、幕府をはじめ諸藩の有志に読まれ、多大な影響を与えました。

安政3年（1856）に天功は彰考館総裁に就任し、『大日本史』の編纂に専念することができました。しかし、文久4年（1864）、『大日本史』の完成をみないままこの世を去りました。

天功が編纂に携わった『大日本史』は、明治39年（1906）に完成し、現在の皇室系図の基になるなど、後の歴史学に大きな影響を及

ぼしました。

豊田天功が学んだ「青藍舎」の跡地（現在の梅香1丁目地内）に建てられたのが社会センター（後の「みと好文カレッジ」）です。

みと好文カレッジは、この地で、生涯学習の発信基地としての役割を担ってきましたが、現在は、活動の場所を水戸市総合教育研究所に移し、全市的な生涯学習を推進しています。



これは、水戸第二高等学校にある天功の長男「香窓」の妻「英雄」の銅像です。

英雄は日本の女子高等教育の先駆者であり、幼稚園教育の開拓者として知られています。